

第1号様式(第10条関係)

平成 31 年 4 月 26 日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 社民・社大・結連合

代表者名 照屋 大河



平成30年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

平成30年度 政務活動費収支報告書

会派名 社民・社大・結連合

1 収 入 政務活動費 14,400,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	2,446,376	視察調査(石垣市/東京都/北海道/佐賀県/シンガポール)調査委託料
研 修 費	47,500	佐賀県
広聴広報費	530,132	議会活動報告(写真撮影代・印刷費・郵送料等)
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費	238,906	旅費 お茶・コーヒー等
資料作成費	0	
資料購入費	592,676	データベース利用料 新聞購読料 書籍購入費
事 務 費	1,309,271	パソコン関係 複合機カウント使用料 複合機リース代 NHK受信料 会派室電話FAX利用料 消耗品等
人 件 費	8,275,734	職員(2名)給与・賞与 社会保険料 労働保険料等委託料
合 計	13,440,595	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 959,405 円



- ・石垣市での研究及び視察調査 雑費
- ・充当割合 その他 政務活動以外も含む為
- ・充当金額 60,000 円

ホテルバック@24,000円×6名=144,000円  
 1名対象外のため5名分計上  
 @24,000円×5名×1/2=60,000円

## 領 収 証



社民・社大・結連合殿

2018年 4月 25日

金額		¥	1	4	4	0	0	0	0	円
----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

<sup>5/9発</sup>  
 但しホテルバック代(那覇-石垣往復航空運賃1泊宿泊代)として

上記金額正に領収いたしました。

現金	
振込	¥144,000
クレジット	
小切手	
その他	

株式会社JAL JTAセールズ  
 〒900-0027  
 沖縄県那覇市山下町3-24



電話(098)858-4833(代)  
 FAX(098)858-7210

本領収証に社印なく或は金額訂正又は削除したものは無効です。

№ 008063

領 収 証

No 01663

社民・社大・結連合 様

日付 平成 30年 5月 10日

金額 ￥ 6,480-

伝票番号

但し レンタカー代として

現金  クレジット  クーポン

上記金額正に領収致しました。

小切手  銀行振込  その他

収入  
印紙

日産レンタカー  
石垣空港店

〒907-0004 沖縄県石垣市字  
ニッサンレンタリース石垣  
代表取締役 親 盛 一  
☎ 0980-84-4123

担当者  
[Redacted]

- ・ 充当割合 10/10 政務活動ため
- ・ 充当金額 6,480 円

ENEOS

納品書(領収書)

2018年05月10日 15:21

売上  
Tカード会員 様  
6-987032-49996-000  
現金会員  
車両番号 実車番 [Redacted]  
0026-00  
レギュラーG P-04  
6.83L (159円)

- ・ レンタカーの燃料費
- ・ 充当割合 10/10 政務活動ため
- ・ 充当金額 1,173 円

消費税等(8.00%) ￥1,086  
消費税 ￥87  
合計 ￥1,173

TEL: 10000-8827 5000-3827  
0000-827  
番号: [Redacted]  
印: 基本P 5P  
特別P 0P  
今回計 5P

本日付与されたポイントは2~3日  
目以降に反映されます。有効期限切  
等の理由で、Tカードにポイントが  
加算されないことがあります。  
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ  
い。

現金で生引上げの場合は領収書にかえさせていただきます。  
毎週金曜日はTポイント 5倍!

株式会社 石垣エスエスグループ  
石垣空港SS  
沖縄県 石垣市  
白保盛山222-34  
TEL: 0980-84-4182 SS-987032  
レシートNo 6906-02 データNo 0117-0118  
004 [Redacted] 2018/05/10

## 視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年月日	平成30年5月9日（水）～5月10日（木）			
場所	石垣市平得大俣地区、川平湾			
相手方	石垣市議会 花谷史郎市議、川平区公民館 ■■■■■ 公民館長			
目的	自衛隊基地石垣配備の現地視察 川平地区景観見直しに関する調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月9日（水）	午前中移動	政務活動外	
	5月10日（木）	13:00～	平得大俣地区	自衛隊配備予定地視察とレクチャー
		15:00～	川平湾地区	景観条例見直し地区視察と訴訟について
内容	<p>①バナナ公園より平得大俣地区を見下ろし、花谷石垣市議よりどのエリアにどのような機能が予定されているかレクチャーを受ける。</p> <p>②川平湾にて、■■■■川平公民館長より、景観条例見直しによる川平湾の眺望への影響、地域が保全に努力してきた経緯、訴訟の状況をレクチャーを受ける。</p>			
成果及び所見	別紙の通り			
備考	参加議員 ①狩俣信子 ②崎山嗣幸 ③仲宗根悟 ④照屋大河 ⑤宮城一郎			



視察調査報告書

狩俣 信子

経費区分	視察調査費			
年月日	平成30年5月9日（水）～5月10日（木）			
場所	石垣市平得大俣地区、川平湾			
相手方	石垣市議会 花谷史郎市議、川平区公民館 ■■■■■ 公民館長			
目的	自衛隊基地石垣配備の現地視察 川平地区景観見直しに関する調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月9日（水）	午前中移動	政務活動外	
	5月10日（木）	13:00～	平得大俣地区	自衛隊配備予定地視察とレクチャー
		15:00～	川平湾地区	景観条例見直し地区視察と訴訟について
内容	<p>①バナナ公園より平得大俣地区を見下ろし、花谷石垣市議よりどのエリアにどのような機能が予定されているかレクチャーを受ける。</p> <p>②川平湾にて、■■■■川平公民館長より、景観条例見直しによる川平湾の眺望への影響、地域が保全に努力してきた経緯、訴訟の状況をレクチャーを受ける。</p>			
成果及び所見	<p>①自衛隊予定地(平得大俣地区)の視察 小高い丘の麓までの広い地区が予定地、更にバナナ公園より視察。石垣市議の花谷さんより詳しく説明を受ける。</p> <p>②川平湾地区の視察 今、川平湾周辺にホテル建設の予定が持ち上がり、これまでの美しい眺望が危うくなっていくとの事で地域の人々が心配している。川平公民館の■■■■館長から説明を受ける。景観条例をしっかりと守り、石垣島の観光・自然環境の大切さを学ぶ。</p>			
備考	参加議員 ①狩俣信子 ②崎山嗣幸 ③仲宗根悟 ④照屋大河 ⑤宮城一郎			

社民・社大・結連合 崎山 嗣幸

【成果及び所見】

① 自衛隊基地石垣配備予定地域の平得大俣地区を視察した。バナナ公園より、花谷石垣市議より、現状説明を受けた。防衛省の中期防衛計画に基づく平得大俣地区への配備は去る大戦で3,000人余りのマラリア犠牲者を出した体験から市民は反対の意思表示をしている。観光・農業・医療を充実させ、離島の課題解決が先であり、防衛計画により、紛争に巻き込まれる不安と危険をつくり出してはならない。

② 川平地景観地区視察

川平地区で、XXXXXXXXXX館長から、景観訴訟、取り組みの説明を受けた。都市計画、景観地区見直しは、高さ制限が撤廃され、風光明媚な川平湾、美しい海岸線が破壊されるとして、反対の説明があった。その後、都市計画審議会で川平地区見直しは中止すると決定したことにより、川平公民館は訴訟を取り下げた。訴訟中に現地視察をし、その後解決をみたことは時期にかなった視察であり、特筆される。



## 視察調査報告書

社民・社大・結連合 仲宗根悟

期日 2018年5月10日

場所 石垣市川平地区、平得大俣地区

要件 「川平湾の背後にホテル建設計画について」  
「自衛隊配備予定地視察」

## 成果及び所見

## 川平湾の背後にホテル建設計画について

「この川平地域にホテル建設計画が立ち上がり計画地の農振地域の除外申請が市へ提出され審査されている。」とのことが、川平公民館館長を務める■■■■氏より川平湾と川平集落を一望する場所より説明を頂く。

川平湾は、1997年9月11日に「川平湾及び於茂登岳」として国の名勝に指定されて、2007年8月1日に西表国立公園が拡張され西表国立公園となった際に、第一種特別指定されている。沖縄県の観光をピアールする代表的な風景は有名である。山々に囲まれ白い砂浜にエメラルドグリーンが見事に映え、美しい豊かな自然に触れ、訪れるものは誰もが心癒されることです。

川平に住む住民は公民館を中心に、川平地域の湾及び海水浴場、浜辺の自然環境整備のために清掃活動や背後地を開墾し農地としての活用で雑木の繁茂を防ぎ景観を守ってきた歴史がある。

この名勝地の川平湾一帯にホテルが立ち並ぶようになるとこれまでの「川平湾及び於茂登岳」の国指定の名勝が体をなさなくなる。

沖縄を代表する美しい自然の風景が建造物で、いびつなものになっては沖縄の観光イメージが損なわれる。そういう風景になってしまった箇所を多く見ている。川平湾地域はこのままの景観を維持して欲しい。

## 自衛隊配備予定地について

自衛隊配備予定地の平得大俣地区を一望できるバナナ公園展望台より、花谷史郎石垣市議より予定地のエリアや予定地周辺の5公民館は反対決議をしたとの説明を受ける。予定地は総面積が46ヘクタール、用地造成が30ヘクタールとされており、小高い森を始め、農地も含まれている。

見るからに神聖なる森を背に風水上、豊かな稔りを授けてくれる場所を農地として開墾し、肥沃豊かで多くの農家が集まったとのことである。

このような豊穡の恵み豊かな土地を自衛隊基地としての造成し自然環境及び生産の場の破壊はあってはならない。

視察調査報告書

社民・社大・結連合 照屋大河

【成果及び所見】

① 自衛隊配備に関する地元における状況について、花谷石垣市議による反対運動の様子などについて説明を受けた。政府による自衛隊配備に関する説明は不十分であり、地元の納得理解のない強行配備を許すことができない。

② 川平地区のホテル建設計画について

川平地区で計画されるホテル建設計画の問題点、地域住民が抱く懸念などや不満などを川平公民館長の■■■■より説明を受けた。川平地区の自然豊かな景観と環境は繊細かつ重要な地域の宝物との訴えだった。都市計画、景観地区見直しの手続きに関する県議会における調査を行なってほしいとの要請があった。地域住民の思いに寄り添う取り組みが必要と感じた。

## 視察調査報告書

宮城 一郎

経費区分	視察調査費			
年月日	平成30年5月9日（水）～5月10日（木）			
場所	石垣市平得大俣地区、川平湾			
相手方	石垣市議会 花谷史郎市議、川平区公民館 ■■■■■ 公民館長			
目的	自衛隊基地石垣配備の現地視察 川平地区景観見直しに関する調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月9日（水）	午前中移動	政務活動外	
	5月10日（木）	13:00～	平得大俣地区	自衛隊配備予定地視察とレクチャー
		15:00～	川平湾地区	景観条例見直し地区視察と訴訟について
内容	<p>①バナナ公園より平得大俣地区を見下ろし、花谷石垣市議よりどのエリアにどのような機能が予定されているかレクチャーを受ける。</p> <p>②川平湾にて、■■■■川平公民館長より、景観条例見直しによる川平湾の眺望への影響、地域が保全に努力してきた経緯、訴訟の状況をレクチャーを受ける。</p>			
成果及び所見	<p>①平得大俣地区を一望できるバナナ公園から、地元の花谷市議のこの地区の歴史と産業形成、そして自衛隊基地がどのあたりに配備予定で、地元の特に農業生産者への影響や、地下水源への懸念など、詳しく聞くことができた。今後の市議会活動と県議会の連携を望まれた。</p> <p>②川平湾の景観条例見直し問題について、地元の■■■■川平公民館長よりレクチャーを受けた。これまで川平住民が守ってきた景観との意義と、今条例見直しで懸念される影響、阻止のための訴訟提起の状況などを説明いただいた。</p>			
備考				

- ・ 東京都 調査旅費
- ・ 充当割合 1/2 政務活動以外も含むため
- ・ 充当金額 41,490 円

領 収 証

2018年05月28日

仲村 未央 様

金額	¥ 82,980 ※
----	------------



但し 2018/05/29-05/31 那覇/羽田 往復航空券代と致しまして

上記の金額正に領収いたしました。

Ref.No. 0000123932 予約No. 395307

御注意

1. 手書きのもの並びに金額の訂正したものは無効とします。
2. 社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業 第416号  
株式会社リウボウ旅行サービス  
本社営業部  
〒900-0014  
沖縄県那覇市松尾  
1-9-49 2F



TEL:098-861-3404

FAX:098-861-3603

## 視察調査報告書

仲村未央

経費区分	調査研究費			
年月日	平成30年5月30日(水)			
場所	東京都 弁護士会館			
相手方	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■			
目的	公有水面埋立法、辺野古新基地建設と「民意」の法的関係について専門家の知見を得るため沖縄問題対策部会所属弁護士との学習会を開催した。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	5月30日 (水)	13:00~ 16:00	弁護士会館 6階	東京弁護士会人権擁護委員会 沖縄問題対策部会との学習会
内容	辺野古新基地建設において「民意」が法的にどのような意義を持つか等			
成果及び所見	別紙の通り			
備考				

仲村未央

<成果及び所見>

沖縄対策部会として、長年にわたって研究を続ける東京弁護士会で、辺野古新基地建設をめぐる「民意」が法的にどのような意義を持つのかをテーマに議論した。

埋立承認取消し訴訟判決では、2014年沖縄県知事選挙で示された民意は、イコール辺野古新基地建設反対の民意とまでは言えないとされたことから、辺野古埋立の是非のみを争点とする県民投票を実施するべきではとの声がある。沖縄県が次に「撤回」を行う場合、①何がその事由となるか、②「民意」は撤回要件となるか—を集中議題とした。

裁判は蒸し返しの論を避ける傾向にあるため、環境措置の不履行など承認時においても指摘された事案は「決着済」として素通りされる可能性があること、「民意」が明白であれば撤回事由として有益であること、取消し訴訟の判決を踏まえ、明白な民意を示す手法として県民投票はじゅうぶんに検討されるべきであることなどが部会の大方の一致点だった。

専門的知見から議論頂いたことで、論点が整理された。一方、県民投票はその後、県民主導で進められ、撤回に間に合う時期の実施とはならなかった。会派においては継続して意義や課題を整理しながら、それぞれが地域の支柱として公明正大な投票運動を担うことになった。県民投票の結果は県知事から日米両政府に伝えられたが、公有水面埋立法における取扱い、さらには地方自治法、憲法など「民意」がどのように生かされるべきか、日米安全保障条約に基づく基地提供との兼ね合いにおいてはなおの研究、検証が必要である。



領収書

WEB 728d83c26b-00000-101902-0-1100  
表示日 2019年03月26日(火)

次呂久 成崇

様

金額 ¥22,100- (税込)  
クレジット支払い

航空券番号 1010206829182014 1010206829182025

照会番号 E8FJ54

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2018年06月29日(金)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

 A STAR ALLIANCE MEMBER  
全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

- ・ 搭乗日/搭乗区間 7月08日石垣→那覇 (ANA1762)  
7月14日那覇→石垣 (ANA1081)
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 22,100 円

- ・ 搭乗日：平成30年7月9日～7月14日
- ・ 搭乗区間：那覇～羽田～北海道 北海道～福岡～那覇
- ・ 充当割合 10/10 政務活動ため
- ・ 充当金額 1,455,000 円

領 取 証 社民 大 組 建 会 様 No. \_\_\_\_\_

★ 1,455,000 円

但し、前記乗車券は、佐賀県佐賀市にて  
2018年7月4日 上記正に領収いたしました

収入印紙 200円

収入印紙 200円

振込金額 \_\_\_\_\_  
消費税額等(%) \_\_\_\_\_

アクアトラベル 株式会社 沖縄営業所  
〒900-0022 沖縄県那覇市樋川2丁目1-3  
開南ビル2階  
TEL (098) 995-8512 FAX (098) 995-8513

〈視察旅費内訳〉

No.	議員名	金額	内容
1	崎山 嗣幸	205,000	北海道・佐賀(5泊6日)
2	仲村 未央	205,000	"
3	次呂久成崇	205,000	"
4	狩俣 信子	178,000	北海道(3泊4日)
5	仲宗根 悟	178,000	"
6	照屋 大河	178,000	"
7	亀濱 玲子	178,000	"
8	新里 米吉	128,000	北海道(2泊3日)
	合計	1,455,000	

・ 充当割合 10/10 政務活動のため  
 ・ 充当金額 17,900 円

### 領 収 証

大Xハマ レイコ 様 平成 30 年 7 月 5 日

収 入  
印 紙

金 7 17,900 -

但し 旅行代金として (ミヤコ-カクシ)

※ 5000円

7/8 ミヤコ-カクシ (JTA572) 7/13 ナハ-ミヤコ (JTA571)

上記の金額正に受領致しました。

沖縄県知事登録(旅行業)第2215号  
**有限会社 三友商事**  
 〒906-0013  
 宮古島市平良字下里569  
 電話・FAX (0980)73-1515

**三友旅行サービス**  
 〒906-0012  
 宮古島市平良字西里3005  
 電話 (0980) 75-5111  
 FAX (0980) 75-3715

領収者印



会社印及び領収者印のなきものは無効とする。

# 領 収 証

103772

H30年 7月 8日

社民社大・結東合 様

金額 75,961

取扱者

印紙税申告納付  
につき沖縄県税務署  
承認済

但し お品代 とし 上記の通り領収致しました

- |                                                                                                             |                                                                                               |                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 読谷本店<br>〒904-0328 沖縄県中郡読谷村字字野567番地1<br>TEL:098-958-7333 FAX:098-958-7330           | <input type="checkbox"/> 名護店<br>〒905-0004 沖縄県名護市中山1024-1<br>TEL:0980-54-8615 FAX:0980-54-8525 | <input type="checkbox"/> 国際通り牧志店<br>〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-1-8<br>TEL・FAX 098-962-3589                     |
| <input type="checkbox"/> 恩納店<br>〒904-2404 沖縄県恩納郡恩納村字浦田100番地<br>TEL:098-882-3388 FAX:098-882-3434            | <input type="checkbox"/> 国際通りむつみ橋店<br>〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-3-58 (1階)<br>TEL・FAX:098-951-2261   | <input type="checkbox"/> 菓子工房樹々 大木店<br>〒904-0010 沖縄県中郡読谷村字大木468番地7<br>TEL:098-958-3335 FAX:098-958-7818 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 国際通り松原店<br>〒900-0014 沖縄県那覇市松原1-2-5<br>TEL:098-882-0334 FAX:098-882-0334 | <input type="checkbox"/> 那覇空港店<br>〒901-0142 沖縄県那覇市旭川150番地 那覇空港内2階<br>TEL・FAX:098-259-7284     | <input type="checkbox"/> 平和通り店<br>〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-2-51<br>TEL・FAX 098-951-3778                      |

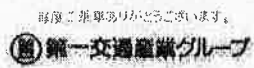
元祖紅いも菓子本舗  
**御菓子御殿**  
株式会社 御菓子御殿  
URL: <http://www.okashigoten.com>  
E-mail: [cpo@okashigoten.com](mailto:cpo@okashigoten.com)

- ・お土産代
- ・充当割合 10/10 政務活動のため
- ・充当金額 5,961 円

領 収 書  
No. 3246

日付 2018年 07月 09日  
車番 0105 0000  
基本運賃 ¥1,390円  
合計 **¥1,390円**

上記の様に領収致しました



タクシー御用命 (24時間営業)  
那覇市内 TEL 853-7801

那覇市内と周辺のいたるところを  
配車区域として無線車をご利用が  
お待ちしております。

沖縄県那覇市職名3丁目6番17号  
那覇第一交通株式会社  
TEL 833-4784

- ・タクシー代 (沖縄県議会→那覇空港)  
早朝6:30集合・資料等多数の為
- ・充当割合 10/10 政務活動のため
- ・充当金額 1,390 円

会社 祖業 (北海道)  
領 収 書

毎度ご乗車ありがとうございます。  
車両番号 25号  
**2018年07月09日**  
乗車料金 **¥2580円**  
立替金 円

上記の通り正に領収致しました。  
**ひまわりタクシー (株)**  
沖縄県浦添市西原5丁目8番10号  
TEL (098) 879-7877  
お忘れ物やご要望がありましたら  
上記のTELまでご連絡下さい

- ・タクシー代 (自宅 那覇市首里→那覇空港)  
時間が差し迫っていた。資料等多数の為
- ・充当割合 10/10 政務活動のため
- ・充当金額 2,580 円

# 領収書



2018年7月10日

社民・社大・結連台 様

北海道斜里町字岩字別531番地

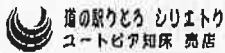
公益財団法人 知床財団

一金 ¥25,000- 円也

摘要	金額	備考
知床自然センター映像展示館入館料		
知床財団賛助会費		
100平方メートル運動の森・トラスト		
譲渡料として	¥25,000-	

上記のとおり領収いたしました。

- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 25,000 円



北海道斜里郡斜里町ウトロ西186-8  
TEL. 0152-22-5160  
※期間限定 レットでソフトクリームが50円引き

# 領収書

2018/07/10 (火) 13:05 No 0189

収入

印紙

社民・社大・結連台 様

¥2,592-

(内消費税 8% 192)

- ・ お土産代 関係先へのお土産が不足したため現地にて購入
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 2,592 円

内訳



**領収書**

**社民・社大・結連合 様**

ご利用日付 2018年07月12日  
時刻 17時12分  
券番号: 4507  
取引内容: 乗車券購入 金780円

福岡空港駅  
券A07発行  
福岡市交通局

伝票番号: 16107

ご利用ありがとうございます。

- ・ 電車代 (福岡空港→博多) @260円×3名分
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 780 円

**領収書**

**社民・社大・結連合 様**

ご利用日付 2018年-7月13日  
時刻 20時05分  
券番号: 44628  
取引内容: 乗車券類 金3860円

佐賀駅 券107発行  
九州旅客鉄道株式会社

伝票番号 82069

ご利用ありがとうございます。

- ・ 電車代 (佐賀→福岡) @1930円×2名分
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 3,860 円

**領 収 書**

**社民・社大・結連合 様**

2018年07月13日

ご利用時刻 10:30  
取引内容 乗車券購入  
購入金額 ¥1,850  
購入区分 現金  
領収書番号 008388

上記金額正に領収致しました。  
ご利用ありがとうございます。

西日本鉄道株式会社  
天神BT 01 号機発行

- ・ 電車代 (福岡→佐賀) ベア乗車券 (約10%割引)
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 1,850 円

**領収書**

**社民・社大・結連合 様**

ご利用日付 2018年-7月13日  
時刻 20時06分  
券番号: 44632  
取引内容: 乗車券類 金3860円

佐賀駅 券107発行  
九州旅客鉄道株式会社

伝票番号 82070

ご利用ありがとうございます。

- ・ 電車代 (佐賀→福岡) @1,930円×2名分  
佐賀にて1名合流したため往路は3名 復路は4名
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 3,860 円

**領 収 書**

**社民・社大・結連合 様**

2018年07月13日

ご利用時刻 10:31  
取引内容 乗車券購入  
購入金額 ¥1,030  
購入区分 現金  
領収書番号 008390

上記金額正に領収致しました。  
ご利用ありがとうございます。

西日本鉄道株式会社  
天神BT 01 号機発行

- ・ 電車代 (福岡→佐賀) @1,030円
- ・ 充当割合 10/10 政務活動のため
- ・ 充当金額 1,030 円



## 視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	平成30年7月9日（月）～7月14日（土）			
場所	北海道・佐賀（別紙の通り）			
相手方	別紙の通り			
目的	現在、本県が整備を進める方針の衛生管理型市場と登録が延期された奄美大島・徳之島・沖縄本島北部、西表島の世界自然遺産登録の課題をはじめ、建設中の新県立図書館及び自主防災訓練対応の取り組み等について本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要		時間	場所	内容
			別紙の通り	
内容	別紙の通り			
成果及び所見	別紙の通り			
備考	〈参加議員名 8名〉 北海道・佐賀 ①崎山嗣幸②仲村未央③次呂久成崇 北海道 ④狩俣信子⑤仲宗根悟⑥照屋大河⑦亀濱玲子⑧新里米吉(7/11離団)			

## 社民、社大、結連合 行政視察日程表

平成30年度

月日	時間	日程	宿泊地	備考
7月9日 (月)	6:30 ~	那覇空港集合		
	7:15 ~ 16:00	那覇空港 → 羽田空港 → 女満別空港 → 斜里町		
	16:00 ~ 17:00	① ウトロ漁港視察		本所で組合長表敬→荷捌所へ移動し説明員による施設案内。
	17:00 ~	宿泊場所へ	ホテル知床 (斜里町)	
7月10日 (火)	8:30 ~ 9:30	宿泊場所 → 知床自然センター		
	9:30 ~ 12:00	② 知床自然センター視察 (講義レク)		知床自然センター(知床財団)にて映像等を活用した1時間程度の講義レク。 その後、旅行社の案内で半島視察。
	12:00 ~ 17:00	知床 → 摩周湖 → 釧路 → 帯広(宿泊)	コンフォート ホテル帯広	
7月11日 (水)	09:00 ~ 15:30	帯広 → 日勝峠 → 夕張市 → 札幌		
	16:00 ~ 17:00	③ 札幌市えほん図書館視察		開設の経緯、運営の現状と課題などについて伺ったのち、現場視察。
	17:00 ~	宿泊場所へ	ネストホテル 札幌駅前	
7月12日 (木)	10:00 ~ 11:00	④ 千歳市防災学習交流センターそなえーる視察		同施設副所長による施設概要や建設に至るまでの経緯などについてレクを受けたのち、館内視察。
	14:00 ~ 19:10	新千歳空港 → 福岡空港		
	14:00 ~ 16:30	→ (1班)那覇空港 → (2班)福岡市	福岡市内	全水道九州地方本部 第22回政策集会参加者
7月13日 (金)	10:00 ~	宿泊地 → 佐賀市へ		
	13:00 ~ 終日	(2班)全水道九州地方本部第22回 政策集会	福岡市内	
7月14日 (土)	9:00 ~ 13:00	(2班)佐賀市 → 福岡空港 → 那覇空港		

※ 各視察先連絡一覧は別紙参照

報告者：仲村未央

#### <ウトロ漁港>

老朽化した泊魚市場の移転が喫緊の課題となる中、糸満市に建設される衛生管理施設整備の先進例として視察。海水取水、貯水、製氷技術など現場で詳しく説明いただき、また、水揚げの推移、市場の動向、設備投資、施設の維持・運営、コスト面の課題についても詳細なデータや、率直な所見をいただいた。つくり育てる漁業、資源管理の重要性についても地域の取り組みの歴史を知り、漁業振興の視点が深まった。

#### <知床自然センター>

期待された奄美・琉球4地域の世界自然遺産登録が延期となり、課題の整理や地域との連携が指摘される中、2005年に世界自然遺産登録を果たした知床の取り組みについて学んだ。注目した点は、ユネスコからの勧告に対応する仕組みとして、「知床世界自然遺産地域科学委員会」を設置し、課題ごとに専門家、科学者から知見を得る組織があること。具体的には、「海洋資源管理」「サケ科魚類とダム管理」「エゾシカの管理」「エコツーリズム」「気候変動のモニタリング」の5分科会で、ユネスコからの17の勧告に込んでいる。科学委員会の報告は、それぞれの分科会ごとにレポートが発行され、知床自然センターを訪れる人が誰でも手にできるよう配布されている。

希少な自然環境の保全と地域住民の暮らし、さらにエコツーリズムを導入していくには持続可能な仕組みが必要であり、遺産登録そのものがゴールではないことを痛感した。また、来訪者の拠点となり、学習・情報発信機能を果たす「センター」の整備は不可欠で、運営する人材の育成も大きな課題であると感じた。知床は、「知床財団」を設立して会費会員並びに寄付を募り、センターの運営をはじめ、知床の自然を守り伝えるための活動を行っている。環境省との連携、事業委託の窓口でもある。

2年後の登録申請に向けて、地元自治体と県の主体的取り組み、自然保護団体等の連携、科学者、専門家から協力を得る体制づくり、これらを担う人材の育成、財団や基金の設置など持続可能な仕組みが待ったなしで求められていると感じた。県の取り組みをいま一度確認し、沖縄の自然を守り、発信する体制をつくっていきたい。

#### <札幌市えほん図書館>

市役所庁舎内に、親子で利用できる子ども図書館があることで、役所利用にあわせて市民が気軽に訪れることができる。庁舎建設の際の設計段階で専用スペースを確保し、市教育委員会の事業として安定的に取り組まれている。ブックスタートや子育て支援に対する市の積極姿勢が表れ、市民からも喜ばれる施設だと感じた。

庁舎内にあることを生かし、敷居を低くして相談できる子育て支援窓口の設置など福祉事務所等との連携機能を持たせてはどうかと感じた。親子に開かれた施設は、さまざまな「気づき」があるので、子どもの貧困対策を重点政策に抱げる本県も大いに参考にするべき施策である。

#### <千歳市防災学習交流センター・そなえ〜る>

火事の際に室内で充満するけむりや震度7の地震の揺れを体感できる装置などもあり、体験型の学習施設として充実している。学習、備え、災害が起きたときの避難所、備蓄はどの地域においても最重要の課題であり、日常も多目的に、有効に生かせるような施設づくりが必要と感じた。観光客 1000 万人時代を迎える沖縄では、住民はもとよりあらゆる想定を持って体制づくりに取り組まなければならない。

#### <水道政策研究集会>

水道法改正に伴う課題についての政策研究集会に参加し、沖縄の米軍基地また軍事基地建設から派生する水問題について報告した。水源を本島北部に頼る沖縄では、ダム周辺の米軍訓練場からの環境汚染が発覚し、取水域における米軍機墜落事故なども発生している。さらに、補完水源である本島中部比謝川においても嘉手納基地由来の PFOS 汚染が発覚。その除去に企業局があたるなど深刻な課題が山積している。加えて、宮古島、石垣島の自衛隊基地建設をめぐる、地下水への影響が懸念されており、県民の暮らし、水環境をめぐる軍事基地との軋轢が各地で生じていることを報告した。水は「いのち」そのものである。島嶼県において水を危機にさらすことは断じて許されない。自治体の管理権など日米地位協定による制約も安全管理上著しい支障があり、国内環境基準を適用させる等、幾重にも重なる課題を報告した。国民的課題として問題を共有し、その解決を政府に求める必要があることを主張した。

## 【成果と評価】

## ① ウトロ漁港

沖縄県が進める糸満での管理型市場に参考にするためウトロ漁港を視察した。ウトロ漁港はサケマスの定置網漁業が日本有数の水揚げ高をあげている。新ウトロ漁港は人工地盤方式を取り入れ衛生管理型市場を完成させていた。特に、清浄・海水取水装置、貯水庫の中に入り、体験したが、衛生面が整備され、魚の鮮度保持が保たれ、安心・安全な魚が供給されていることを実感した。

## ② 知床財団センター

今、沖縄の世界自然遺産登録が延期され、問題点と課題の解決が求められている。沖縄と知床は、米軍基地などや希少種の種類は違うが生態系、生物多様性の豊かな自然は共有できる。知床はサケ類とダム、ヒグマ、エゾシカ対策、観光管理、海域管理計画を策定し、取り組みをしている。特に、サケ類が海と陸をつなぐため、海域3Kまで登録されていることは日本で初めてのことであり、沖縄も海域を含めればジュゴンも保護できるのではないかと考えた。

## ③ えほん図書館（札幌市）

行政と議会が他県を視察し、企画し、実践したことはすばらしいと感心した。生涯に渡り人間形成の基盤を培う幼児期の読書のキッカケづくりが重要だと認識が共有されてきた。

図書館 3億9千万

整備費 1億3千万

運営費 5.1万

で、29年度の来館者数22万人を超え、満足度98%とのことである。1人、1,000冊以上を読破した人は認定証を付与するなど読書にくぎ付けをする工夫が考えられていた。

## ④ 千歳防犯センター

近年の地震対策に備えるため、防災対策推進や自主防災訓練組織化をはかっている。この施設は、国の補助事業で約21億かけて建設し、災害を「学ぶ」「体験する」「備える」をテーマに災害の疑似体験や防災学習を通して、防災意識を高める目的としている。私達も震度7強の疑似体験をしたが、想像を絶する揺れに恐怖感を覚えた。一層防災対策の重要性を痛感した。

## ○水道法改正の政策研究集会

水道法改正の法案が衆議院で可決され、現在参議院で審議中である。主な内容は、上下水道基盤整備を名目に上下水道の広域化、民営化が進められようとしている。水は生きとし生けるものすべてが必要不可欠な貴重なものであり、営利目的主義にならないよう公営化の役割と使命が大きいと実感した。また、仲村県議が米軍基地と水の問題を題に講演を行い、130名の参加者はかたずをのんで聞き入っていた。福地ダム等の水源地が米軍との共有であり、汚染問題を鋭く突き沖縄の現状を訴えたのはよかった。

## 視察調査報告

社民・社大・結連合 次呂久 成崇

## 【成果及び所見】

## ①ウトロ漁港

ウトロ漁港は、北海道東部のオホーツク海に面した知床半島に位置し、知床半島で操業する漁船の避難港として、また、サケ・マス定置網漁業等、北海道有数の水産基地として利用されている第4種漁港であり、本県が糸満市で整備を進める方針の管理型市場を参考にするため視察をした。近年、食品の安全性が求められている中で船倉の魚体の温度管理や漁船の厳禁装置導入といった衛生管理の体制構築、用地・水域・施設不足対策と経緯など先進的であった。清浄・海水取水装置、貯水庫では実際に中に入り装置の説明あり学ぶことが多かった。衛生面、魚体の温度管理など施設整備が進められていたが「身の丈に合った施設整備が重要」という言葉に、施設整備後の維持管理等も含め、県内の管理型市場の整備を考えることが重要だと感じた。

## ②知床自然センター

奄美大島、徳之島、沖縄本島北部、西表島の世界自然遺産登録が延期され、問題や課題等についての対応が求められていることから視察を行った。

知床世界自然遺産地域は、知床半島の中央部から先端の知床岬にかけ、陸地とその周辺の海域を含む71,100 haの広大な地域で、サケ類が海と陸をつなぐため周辺海域まで登録されているのは日本初めてのことである。希少種については、沖縄県と違うのが生態系、生物多様性の豊かさ、海に囲まれた環境等は共有できる場所があり参考になった。沖縄県の希少野生動植物の保全対策についても周辺海域の含め、検討していく必要があると感じた。

## ③札幌市えほん図書館

年間約18万7千人余りの利用者があり、市民の満足度においても98%が満足しているという「えほん図書館」は、家庭や地域、図書館、学校等をはじめ、議会や行政とともに企画・整備、実践された市民の声が反映された施設だと感じた。

札幌市の複合庁舎内に設置されているが、住民票などを発行してもらえるフロアにカフェもあり、誰でも気楽に入れる雰囲気が印象的だった。また、来館したくなるサービスなど子どもが読書する環境づくり・工夫が随所に見られた。

## ④千歳市防災学習交流センターそなえ〜る

防災に関する知識や災害が発生したときの行動を学ぶことができる体験コーナーをはじめ、防災講座や救急講習、自主防災組織の訓練場として国の補助事業(21億円)で



整備され、訓練や防災学習の拠点施設として活用されていた。実際に震度7強の疑似体験や火災で煙が充満した部屋での移動体験など、貴重な経験をした。防災訓練や日頃の知識・学習などの重要性をあらためて認識した。

#### ⑥水道法改正の政策研究集会

水道法改正は、上下水道基盤整備を名目に上下水道の広域化、民営化に道を開く内容だが、「世界一」と言われる安全・安心でおいしい水道水が確保されるかは大いに疑問である。海外では民営化で料金高騰や水質悪化を招き、再公営化が大きな潮流となっている。国内でも地方議会や住民の権利を軽視するルールに批判が上がっている。水は生きていく上で必要不可欠であり、公益性が高く営利目的になってはいけないものであり、水道事業の中核は公営を続けると表明している自治体も少なくない。

確かに水道施設の老朽化や人口減による収入減に悩む小規模自治体も少なくないが、様々な課題解決に向け水資源利用を見直す国全体の議論が必要だと感じた。

また、この研究集会で、沖縄県の米軍基地と水の問題について、仲村県議が講演を行い沖縄県の現状を全国に訴えた。

視察調査報告書

狩俣信子

## ウトロ漁港

ウトロ漁港は北海道東部に位置し、知床半島のオホーツク海に面した第4種の漁港である。沖縄県は糸満市に管理型市場を計画しており、新ウトロ港の管理の行き届いた施設、衛生面での管理、鮮度の保持など色々な対策がこうじられている状況を視察出来てとても勉強になった。冷凍倉庫の中はマイナス10度くらいで亀浜議員と二人中に入れてもらったが糸満で予定している新漁業市場にもこのような立派なものを作ってほしいと思った。ただ最後に組合長の言った「身の丈に合ったものを作るのが大切」と言う言葉には「そのとうり」だと感じた。

## 知床自然センター

沖縄はやんばるの森の世界自然遺産登録が出来なかったが、知床はどのようにして成功したのか話を聞くことが出来た。専門家とどう繋がって行くかや幅広い資料の収集など大切だと感じた。それにしても、知床自然センターでは映像を使い海洋生物やヒグマなどの実態などを学習させてもらった。沖縄にもこのような自然環境のセンターが出来たら、子どもたちが目を輝かせて学習する事だろう。

## 札幌市えほん図書館

まず、えほん図書館の入り口から子どもたちの喜ぶような作り。幼児期の教育がその後の子どもたちの成長に大きく関わっていることを考えたら、とても素敵な図書館である。親子でのんびり楽しみながら時間を過ごすことが出来るし、子どもたちも安心して絵本を読むことができる。

## 千歳市防災学習交流センター「そなえーる」

地震の多い日本、地震による被害は計り知れない。勿論、死者も多数でる。日ごろからの地震に対する心構えや対策が求められる。今回、千歳市の防災学習交流センター「そなえーる」では煙に巻き込まれて何も見えない時の出口の探し方や地震を発生させその強度がどの位かなど体験させて貰った。震度7の時は棒につかまっても吹き飛ばされそうでとても怖かった。とても良い経験になった。

## 視察調査報告書

社民・社大・結連合 仲宗根悟

期日 2018年7月9日～7月12日

場所 北海道ウトロ漁港・知床自然センター・札幌市えほん図書館・千歳市防災学習センター「そなえる」

## 成果及び所見

## ウトロ漁港

北海道知床半島オホーツク海に面している斜里町には4漁港がありその一つがウトロ漁港である。町の人口約1万2千人余り一次産業従事者は1,478人(21%) そのうち漁業従事者482人(33%) 農業従事者960人(65%) 林業36人(2%)

## 農業との生産高対比

平成25年(22.399百万円) 漁業(12.050百万円) 農業(10.349百万円)

ウトロ地区の二つの漁港で水揚げされるさけ・ますの量は市町村別で平成15年から平成26年まで連続日本一となっているといいウトロ漁協組合意を支えている大きな柱になっているとのこと。

漁港内の衛生管理に対応した漁港漁場整備計画のもと漁業活動の効率化・安全性の向上を図り、高度な衛生管理、観光振興に寄与するとした施策が展開している。漁港は海鳥の格好の住家であり、鳥の糞の対策も大きな課題である。そのための荷捌き施設の衛生管理型市場の施設も充実している。観光客の見学ルート等の工夫や鳥の侵入防止策も講じており衛生管理対策が万全である。

## 知床自然センター

知床半島の中央部から先端の知床岬にかけて陸地とその周辺の海を含む日本で初めての海域を含む地域が世界自然遺産としての指定を受ける。

豊かな海は、プランクトンをはじめに、魚類や海鳥類、鯨類などの海洋生物を育み、シロザケ、カラフトマス、などのサケ科魚類は海から川を遡り、ヒグマや猛禽類の重要な食物資源になり、食べ残された魚もキツネなどの糧になり、最後は土に還り森の栄養分となり、海、川、陸に亘るダイナミックな食物網が形成されている。また動植物共に北方系と南方系が混在しており、これらの生物が密接に影響し合って豊かな生態系形づくっています。この豊かな生態系は、国際的な希少種のシマフクロウ、オオワシ、オジロワシなどの種の存続に不可欠な場所である。保護管理の取り組みとしてエゾシカが激増し植生変化などへの影響が出ていることから捕獲による個体数調整を行っている。海域の生物多様性の維持と漁業活動の両立、共存のための管理方式「多利用型統合型海域管理計画」のもと

「漁業者による自主規制」を遺産地域の管理に組み込み知床の海の生物多様性を維持しながら生業である漁業を両立させる「知床方式」は遺産地域の管理手法として世界的に高く評価されている。

#### 札幌市えほんセンター

札幌市子ども読書活動推進計画のもと、家庭・地域、図書館、学校等が協力して、子どもの読書機会の提供と環境整備の取り組みとして札幌市の複合庁舎内に設置され、年間、約 18 万 7 千人余りの利用者があり、来館者の声として、「子どもにお話を聞く習慣がついてきた」「子どもが読書を楽しめるようになった」「乳幼児を連れて図書館に出かける機会が増えた」など満足度においても 98%が満足と回答しているとのことで大きな成果をあげている。

#### 千歳市防災学習センター「そなえーる」

千歳市は、自衛隊が三方を取り囲むような形状で平成 14 年度に防衛施設周辺地域の発展に貢献しようと国の「まちづくり構想策定支援事業」が創設されたことから総合的な防災対策の推進や自主防災組織の充実などの観点から住民要望や住民懇話会での議論を踏まえ、防災学防災学習交流施設の整備し、災害に強い安全なまちづくりを進めることとしたものである。

施設では、災害を「まなぶ」「体験する」「備える」テーマに疑似体験や防災学習をすることができ、防災に対する意識を高めてもらうことを目的に起振装置、煙避難装置、予防実験装置、避難器具などが備えてある。

## 視察調査報告書

社民・社大・結連合 照屋 大河

## 【成果と評価】

## ①ウトロ漁港

平成 28 年 5 月 14 日供用開始となるウトロ漁港は「水産物の衛生管理、鮮度保持による付加価値向上」「水揚作業の効率化・迅速化」「漁業活動の安全性向上」「漁業地域の防災力向上」「水産業と知床観光の共存による賑わいの創出」等の供用による効果の説明を受けた。

一方、施設整備に関する総事業費 3.3 億円（国費 1.1 億円）の莫大な事業費となり、施設を管理しながら長く効果が得られる工夫と身の丈に合った整備が重要との言葉が印象的だった。漁協では稚魚の放流も行っており、資源を継続させる、未長く漁業を行うとの意識を強く感じた。

## ②知床自然センター

自然と人が共に生きる知床を目指し、野生生物の調査や対策、森づくり、国立公園利用の適正化、環境教育など事業を通して世界遺産知床の生態系と生物多様性の保全活動が行われていた。陸域にとどまらず、海域を含む登録は自然環境を一帯として捉えることで重要な視点と感じた。

## ③札幌市えほん図書館

幼児教育の低年齢化を指摘される中で、絵本に特化した図書館は子どもの成長を支える重要な施設だと感じた。

絵本は、言葉が分からない赤ちゃんの時からでも遊びの一つとして十分に楽しむことができ、子どもたちは絵本を通じて周囲の人々との交流を深めながら、多くのものに興味や関心を広げ、より大きな世界を感じ取っていくことができると実感させられた。

## ④千歳市防災学習交流センター そなえーる

国の補助事業（21 億円）をかけて整備され、災害の疑似体験や防災学習を通して、防災意識を高めることや、自然防災組織の訓練場として活用がされていた。実際に体験したが、災害を常に意識することの重要性を感じ取ることができた。

社民・社大・結連合 新里米吉

7/9～7/10 視察参加  
(11日午前離団)

【成果及び所見】

① ウトロ漁港視察

沖縄県は、管理型市場を糸満市に建設する方針を進めており新ウトロ漁港の視察は参考になった。新ウトロ漁港は衛生面の整備、安心・安全な魚の供給、魚の鮮度保持等で、先進的であり、清浄・海水取水装置、貯水庫等学ぶことが多かった。ただ、組合長の「身の丈にあった施設が重要」との言葉は、糸満市の管理型市場建設に当って肝心なことだと思う。

② 知床財団センター視察

知床は、生態系、生物多様性が豊かであり、サケ、ヒグマ、エゾシカ対策、観光管理、海域管理計画を策定している。知床財団センターの視察は、奄美大島、徳之島、沖縄本島北部、西表の世界自然遺産登録に参考になる。



## 視察調査報告書

亀濱玲子

経費区分	調査研究費			
年月日	平成30年7月9日(月)~7月12日(木)			
場所	北海道斜里町・知床・千歳			
相手方	ウトロ漁協・知床自然センター・千歳市防災学習交流センター			
目的	ウトロ漁協の衛生管理型漁港の整備について視察。知床自然センターにおける世界自然遺産の保全と活用について。千歳市防災学習交流センターの活用について視察する。			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	7月9日(月)	16:00	ウトロ漁港視察	漁業組合での講和と漁港の施設視察
	7月10日(火)	9:30	知床自然センター	知床自然センターで座学・視察
	7月11日(水)	16:00	札幌市えほん図書館	開館の経緯・運営の状況と課題等
	7月12日(水)	10:00	千歳市防災学習交流センター	施設の概要説明、体験
内容	<p>①漁港における「衛生管理型市場」について、先進事例としてウトロ漁港の施設を見学。漁協組合の状況を聞く。</p> <p>②知床の世界自然遺産登録のいきさつや現状、課題を聞く。</p> <p>③絵本に特化した特徴ある図書館を見学、行政の取り組みを聞く。</p> <p>④千歳市の防災学習施設の施設の概要を聞き、実際に体験する。</p>			
成果及び所見	<p>本県の課題となっている漁港における「衛生管理型市場」について、①先進事例として「ウトロ漁港」の施設を見学。漁協組合の状況を聞き、「地域マリンビジョン計画」としてモデル地域としての取り組みと課題を知ることができた。沖縄県の糸満漁港や那覇市泊漁港と重ね、地域の現状にマッチした施設について考える機会となった。②「知床自然センター」では、知床の世界自然遺産登録へのいきさつや現在の課題を知ること、目前で延期となった「奄美大島、徳之島、沖縄北部、西表」について、とりわけでも沖縄の「世界自然遺産登録」に向けて、課題を整理して考える必要性を改めて認識した。今後の取り組みへ有意義な視察となった。③「札幌市えほん図書館」では、絵本に特化した特徴ある図書館を見学し、行政と地域が一体となった取り組み、子育て支援の行政の具体的な取り組みが形になったモデルケースがと感した。他自治体にも「絵本館」をつくった自治体などもあり、沖縄県県立図書館がオープンすることもあり、取り組みへの具体的な提言につなげたいと思う。④「千歳市防災学習交流センター」では、千歳市の防災学習施設の概要と活用状況等を聞き、実際に体験する。「そなえーる」という施設の愛称のとおり、学校や地域等の日頃の備え役立つよう、体験に活用されているとのこと。近くに自衛隊基地があり、目の前の公道を戦車が通るような現状にも驚いた。併せて、建設費や維持管理の課題などもあると感じた。本県は島嶼県でもあり、各自自治体と連携して、行政の可能な防災の備えを充実させていく必要があるとあらためて考える機会となった。</p>			
備考				

- ・ 搭乗日：平成30年11月13日 - 11月16日
- ・ シンガポール視察旅費 @218,000円円×3名分
- ・ 充当割合  $\frac{10}{10}$  政務活動のため
- ・ 充当金額 654,000 円

# 領 収 証

No. 001770

社民社大・結連合様 2018年11月08日

金額 ¥ 654,000.-

但し、視察旅費と致しまして

※上記金額確に、領収致しました。



沖縄県知事登録旅行業第2-75号 全国旅行業  
**(株)東亜旅行社**

〒902-0067 沖縄県那覇市字安里  
TEL. 098(885)6999  
FAX. 098(887)6999

担当者印



- ・ 搭乗日/搭乗区間 平成30年 11月12日 宮古→那覇  
11月17日 那覇→宮古
- ・ 充当割合 10/10 政務活動ため
- ・ 充当金額 16,100 円

 		領収書 RECEIPT	1001250169
下記の金額正に領収致しました。			
RECEIVED FROM	カマハマ レイコ 様		
THE SUM OF	¥ 16,100 (税込) (TAX INCLD.)		
但し運賃・料金として IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT			
航空券番号 TICKET NUMBER	1311436380706		
関連航空券番号 OTHERS	*****		
発券日 DATE OF ISSUE	2018年11月02日		
備考 REMARKS			
発行：日本航空株式会社 MMYKD		2018年11月02日	